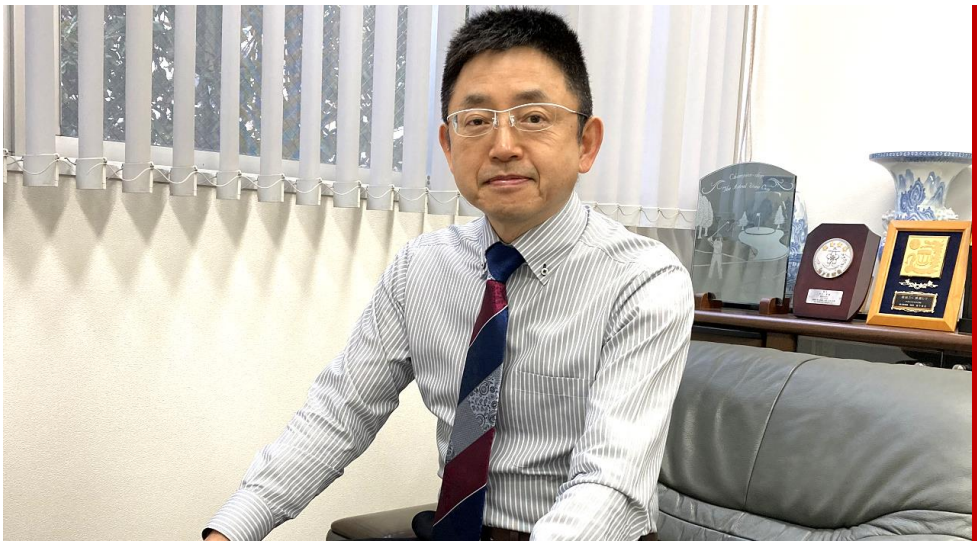
【 2022.2 月発行 】

# KOKUSAI

発行：国際運輸株式会社　VOL. 24



代表取締役社長
前田　和隆
Kazutaka Maeda

## 仕事に合う標準的な身嗜みを心がけ、主張したい個性は仕事の内容と質で表現しよう

今回も約1年振りの社内報となりました。コロナ禍が長引く中にあっても社員の皆さん全員が日々の仕事に邁進し、特に大事な西海みかん輸送の時期を大過なく過ごせた事を心より感謝します。これも社内が一丸となってはじめて成しうることですので、今後もコミュニケーションを大切にしながら全ての社業に取り組んでいきたいと思います。

さて長年にわたって裁判を続けていた配車センター協同組合解散の件は年が明けてようやく和解が成立し、今後の方針もほぼ確定しました。広田の土地と設備は国際運輸と吉田海運さんとの共有となり、北松通運(福岡運輸)さんは8年後にここから出る事になります。

日々の皆さんの仕事に特段の影響が出る事はありませんが、各自が運輸部、梱包部、管理部の垣根を越えてこれからの会社のあり方を模索していくことはとても重要ですので、現行の事業の範疇を超えたものでも構いませんから「ダメ元」で様々なアイデアを出し合いましょう。

最後に今回は「身嗜み」について書きます。調べてみると「他人に不快感を与えないように言動や服装を整える」とありますが、不快感と言われても人には個性や嗜好があり一概には表現しにくいものですね。しかしその仕事に合った格好というものは間違いなくあります。例えば銀行の行員さんがルーズなTシャツ

に金のネックレス姿で働いていたら誰もが驚き、それを許している銀行との取引を考えますよね？ 看護師さんの爪が長くてギラギラのネイルアートを施してあったら、その人に採血してもらいたいですか？ 確かにTシャツもネックレスもド派手ネイルもお客様に物理的迷惑をかけるわけではありませんが、それを見た人(お客様)は100%良い気持ちはしません。

しかしそれらの格好も若者向けのファッションを扱う店等では許されるのですから一概に全ての業界で不可なわけではありません。肝心なのはその仕事に合っているかと言う事です。格好は第一印象に大きく影響します。どんなに立派な仕事をしても最初に「あれっ？」と思われるのはとても勿体ないと思います。個性は大事ですが、仕事の場面で表現すべきは個性的な格好ではなく仕事の質です。きちんとした標準的な身嗜みで、主張したい個性は仕事の内容で表現しましょう。

もちろんプライベートでは自由です。それこそ他人に迷惑さえかけなければ何でもありです(笑)。でも「格好だけ良いのが一番格好悪い」ということを忘れないように。

## ホームページをリニューアル

今回、今後の弊社のより良い人材確保や受注の維持拡大を目的にホームページをリニューアルいたしました。よろしければ一度ご確認いただけますと幸いです。

今後とも弊社の事業活動に対するご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

※新ホームページの URL は変更ございません。

https://www.kokusai-unyu.com

専務取締役
中園　嘉臣
Yoshiomi Nakazono

# 安全という過信

令和も今年で４年目に入りました。そして、コロナ禍になり、もうすぐまるまる２年になろうとしています。当初ここまで長引くとは予想もしていませんでした。当社に於いても、このコロナ禍は大きく影響を与え、米軍引越に於いては、キャンセルが相次ぎ、輸送に於いてはチャーター便の物流は減少を余儀なくされました。

全く話は変わりますが、先日帰宅の際、左折しようと歩行者が通り過ぎるのを待っていたところ、そこは横断歩道があり、当然の如く歩行者優先であり通り過ぎるのを待っていました。5～6人通り過ぎる中に、歩きスマホをしながらゆっくり歩いている歩行者がいました。よく見る風景です。誰でも、2～3度とは言わず経験されていると思います。

されど、裏腹に横断歩道であっても、歩行者専用道路であっても、最近耳にするのは、高齢者のブレーキとアクセルの踏み間違いで、惨憺たる結果を迎えている事故がなんと多いことか。又、踏み間違いであればまだましで、意図的に事故を起こしている人もいます。

海外からみると、日本は絶対数で犯罪が少ないと言われています。又交通事故についても、年々減少傾向にあるとの事。最近まで私自身も、歩行者の方が優先だからとか、直進だから優先とか、そういう意識でいました。ただ、そうやって事故に遭うと、どちらが悪いという前に、怪我をしたり運悪く亡くなったりします。交通法規云々の前に、死んでしまえば元も子もありません。

又、話は変わりますが、企業に於いて収入を得て、生活が出来ているのは、当然のごとくお客様がいらっしゃるからです。会社がそのお客様より、単価の面だ、礼儀正しい社員がいるから、事故が少ないからとかの理由で、お客様から選んでいただいて仕事を貰っています。但し、そのお客様は未来永劫当社のお客様であることは約束していません。先述したどれかが実行出来なければ、お客様は別の会社をすぐに選んでしまいます。会社内の組織でも同じような事が言えます。会社内でいろんな実績を積み、主任になりました、課長になりました。それは素晴らしいことですが、それから先それ以上の努力がないと、現在の立場を継続することすら難しくなります。過去に何をしたかではなく、現在から未来に何が出来るかだと思います。

コロナ禍の中、出来ることは限られていますが、社内の仕事に関する勉強、オンラインの研修等、自身のスキルアップを考えてはどうでしょうか。道路を含めて、今歩いている道が絶対安心だという保証はありません。いろんな意味で、安全という過信は捨てたいと思います。

# 米軍輸送業務と 14 番倉庫

取締役統括本部長
**萩坂　貴徳**
Takanori Hagisaka

引越輸送業務を中心に仕事をしてきた私ですが、幾つかのにがい経験もありながら、うれしいことも沢山ありました。

中でも思い出すのは 2014 年 3 月、当社が創業当時から携わってきた米軍の物資輸送契約が関係皆様の長年のご支援により、二十数年ぶりに元請業者として認定されたことでした。もちろん業務をスタートさせるまでには各米軍基地のアクセスパスの問題や、クリヤーしなければならない多くの事務的な準備作業に苦労はありつつも、契約認定を頂けたことと同時に、会社全体が一丸となってその作業に取り組めたことに喜びを感じました。

この仕事は、通常であれば日本の米軍基地間において、食料品等の通常貨物を定期的に運搬するのが主になるわけですが、時には「特別な品物を特別な運行工程で」、という依頼を受けることもあり、そういう時には、当社も直ぐに運輸部の担当責任者を中心にプロジェクトチームを結成し、安全を十分に考慮した上で、「決められた期限内に決められた輸送手段で」、業務を遂行してきました。そのような様々な場面で、軍の方からも高い評価をいただく機会が多く、当社としても誇りの一つでもございました。

ところで私たちが日頃お世話になっている米軍基地、中でも佐世保基地の物流拠点、Bldg#138 がなぜ通称 14 番と呼ぶのかご存じでしょうか。これは約 100 年前の旧帝国海軍時代の呼び名らしく、当時は大小のレンガ倉庫が番号順に建ち並んでいたそうです。現在も古称 9 番倉庫が Bldg#130 として現役でネイビーエクスチェンジ様が使用されているそうです。横須賀基地で水揚げされた食料や軍需品を、極東最大の供給拠点である佐世保基地 14 番倉庫へ、それらの物資をトラックで輸送をするという目的で 60 年前に創られた国際運輸、言い換えれば、私たちはそこから生まれたといっていいでしょう。

2022 年、改めて米軍輸送契約が更改され、今回も当社は全国の契約業者の一社に加われることになりました。これにつきましても当社に大きなご支援をくださっている皆様には、深い感謝の意を表さなければなりません。私たち国際運輸が、これからの新しい物流システムの一助になれるよう、精一杯のありとあらゆる努力をしていきましょう。

## 与えられた情報だけでなく、自ら動き情報を得ることに努める

運輸部 配車補助

**末吉　梓**
Azusa Sueyoshi

12 月の寒さが少し和らぎ、動きやすくなってきました。制服のスカートの余裕がマイナス 10 程になってきましたので、徐々に運動をしていこうと思う今日この頃です。

昨年の 5 月に入社して、約 9 ヶ月ほど経ちました。最初電話対応で折り返しばかりだったものが、すぐ返答できる内容が増えてきたり、任せてもらうことが多くなったりと、ゼロの状態からやっと 1 になったかなと思うところです。表面的な仕事の流れはわかってきたのですが、具体的内容はまだまだ入っておりません。与えられる情報だけでなく、今後は自ら先輩方にお話を聞きに行って情報を得、詳しい内容まで把握できるように努めていきたいと思います。電話もまだまだ拙く、何を言っているかわからないと言われることがあるので、改善していきたいです。

至らない点が多く、ご迷惑をおかけしておりますが、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

運輸部 乗務員

**古川　将司**
Masashi Furukawa

## 責任の所在

昨年の 6 月に入社し、はや半年が経ちました。

未経験の状態で入社し、免許取得からも 1 年以上経過していたので、最初は 10t トラックという大きな乗り物を、自分の手で動かすということに不安でいっぱいでしたが、車両感覚にも慣れ、今では落ち着いて運転できています。最初は 4t からという会社も多々あると聞きますが、積極的に 10t に乗務させてくれた会社には非常に感謝しています。

ドライバーは運転、積込み、荷卸しと 1 人で業務を行うことが多いです。前職は自衛官で団体行動が主でしたが、今は運転時間の割り振りや積込みの要領、手順等の全てを自分で判断し、行動しなければならないというのが大きな違いと実感しています。1 人で決めれるというのはある意味楽ですが、同時に何か起きた場合は自分で責任を取らなければいけません。その分今まで以上に気を引き締め、業務に邁進したいです。

非常に心強い沢山の先輩方に恵まれていることに感謝し、これからもドライバーとして成長し、会社に貢献したいです。

## プロドライバーとして何事にも一生懸命挑戦する

**運輸部 乗務員**

**山崎　稜**
Ryo Yamasaki

入社して８ヶ月が経とうとしています。

前職は土方で 2t ダンプの運転手をしていましたが、当時大型を運転している人に憧れを感じていたため、大型免許を取得して国際運輸に入社する事を決めました。

大型免許を取得し、中型車にも乗ったことがなかったですが、事務をはじめ長距離ドライバーや地場の方々には分からないことは電話をし、優しく接して教えていただくことで自分の力になってきています。とても良い会社に入社できて本当によかったです。

まだまだ未熟者で荷物の積み方、駐車、その他いろいろと勉強することがありますが、何事にも一生懸命挑戦して早く自分の力になるように頑張っていきたいです。先輩方のように、プロドライバーとして今後頑張っていきます。

**梱包部**

**鬼﨑　建次**
Kenji Onisaki

## 気持ちは前向きに、毎日の仕事に取り組む

昨年の４月に入社しまして 10 ヶ月経ちました。

前職も運送会社に勤務しており、引越の業務も多少の経験はあったのですが、梱包部に配属になり、先輩方の仕事を拝見して、梱包のやり方、ローディングの速さに圧倒され、自分も先輩方と同じように仕事ができる様になれるのか不安でした。

最近になり、少しずつではありますが、仕事にも慣れてきました。まだまだ、未熟な自分ですが、先輩方に早く追いつける様に、日々努力していきたいと思います。

年齢的には初老の域に入りましたが、気持ちは前向きに毎日の仕事に取り組みたいと思いますので、これからもご指導の程、よろしくお願いいたします。

# 人一倍努力するのみ

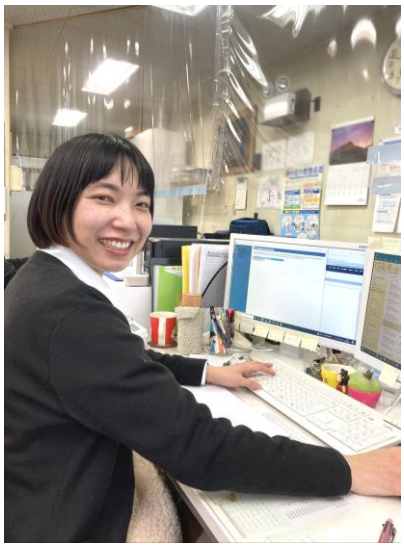
私が国際運輸に入社してから９ヶ月が経とうとしています。
私はこの仕事が最初の職場であり、きちんと会社の戦力になれるのかが不安でいっぱいの中、入社しました。最初は分からないことでいっぱいでしたが、優しく先輩方が教えて下さったおかげで少しは仕事が出来るようになりました。

また、私が一番不安になっていた事は英語が苦手なのに仕事ができるのだろうかということでしたが、先輩たちのマネをしながら今までやってこれています。本当に感謝しています。

これからは、梱包を今よりももっと速くできるようになる事とローディングを素早くする事を目標に頑張っていきます。まだまだ迷惑をかけていく事があると思いますが、人一倍努力するのでご指導の程よろしくお願いいたします。

**梱包部**

**福田　玲**
Rei Fukuda



**梱包部　事務**

**永田　英淑**
Hanayo Nagata

# 英語力の向上に努め、お客様との対応をスムーズにする

昨年の９月に入社致しました。最初は右も左も分からない状態でしたが、先輩方のサポートのおかげで、ようやく業務にも慣れてきました。元々海外に行くことが好きで、様々な国籍の方と会話をする機会は以前よりありましたが、仕事で本格的に英語を使うことは初めての経験ですので日々勉強の連続です。いつも気がけているのは、理解ができないことがあっても聞き返してみること、お客様によって態度を変えず、明るく接することです。最初は電話を取る度に緊張していましたが、この２点を心がけることで自分の心も少し楽になり、お客様との会話も楽しめるようになりました。

今年はより一層英語力の向上に努め、お客様との対応をスムーズにすることを目指します。また、先輩である千布さんのサポートを積極的にできるよう、業務の効率化に努めていきます。

日頃お世話になっている関係会社の皆様の声をお届けします。

# Special Interview

**福岡倉庫株式会社**
**佐世保営業所 所長 石橋 茂貴 様**

11 月 27 日生まれ。趣味は海外旅行や海外ドラマの視聴、買い物。
現在は海外ドラマ「CHICAGO FIRE」がマイブーム。

**質問① 国際運輸㈱の社員の働く姿勢についてどのように感じていらっしゃいますか？**

皆さん真面目でおとなしい性格の方々ですが、英語のスキルが非常に高く、業務・作業ともに品質が高いと感じている日々です。メンバー様（軍人）への的確なアドバイスと先読みの業務処理に非常に助かっています。業務担当の方々においてはお客様が来所時の笑顔や対応など良い環境づくりができていると思います。そんな皆さんと日々仕事をできる事が非常に楽しく嬉しく思います。定期的に合同会議も開催していただいていますが、結果をどれだけ共有して行動に移し徹底できるかが大事です。新入社員、中堅、ベテランなど世代毎で集まって意見を出し合い、業務改善に繋げて品質向上を目指して行きたいですね。

**質問② 今後の物流業界に求められていることについて、ぜひお聞かせ下さい。**

御社のメインであります輸送業においてのトラック便は不可欠です。しかしながら最近は高齢化によるドライバー不足が深刻化していますので今後も重要課題の 1 つと言えるでしょう。これからはハイブリッド及び電気トラックの普及が加速し未来の輸送形態も変化していくとともに、オゾン層破壊など環境問題改善への一打にもなるでしょう。個人的な意見ですがトラックと貨車の連携による労働時間の改善なども必要かもしれませんね。また、引越業も機械化は難しいので労働力の確保が課題でしょうね。今後はもっと生活環境が変化し単身赴任も多くなると思います。無作為な転勤も少なくなっていくのではないでしょうか。引越料金も競争相手が多い為より一層サービス力が求められてくると思います。米軍作業を中心に今後は IR（Integrated Resort）が認可されますと佐世保も活気がわいてきて引越や輸送など御社の力がより一層発揮でき、更に発展されることと思います。

**質問③ 仕事面や生活面において日頃意識されていること（座右の銘など）について、ぜひお聞かせ下さい。**

仕事面においては、POSITIVE THINKING（前向き思考）の考えを大事にしています。失敗したことも一日過ぎれば過去ですから。迷わず前へ進み、過去の失敗や経験を生かして御社とともに発展し続け世界一の MOVING COMPANY を構築できればと望んでいます。生活面においては、コロナが落ち着けば趣味である海外旅行へ行こうと思っています。世界の現状を実際に足を運んで視察し、日本を外から見ることで仕事と私生活に生かしていければと。定年後は世界の船旅を考えています。他に英語を生かしボランティア等にも参加し楽しみたいのも目標です。その為にはもっと努力が必要ですね。

国際運輸㈱で行われている日常の様々な出来事を紹介します。

# *KOKUSAI Information*

昨年弊社では、「SDGs の達成を通じて、一人一人が笑顔で暮らせるような社会の実現に努めていく」ことの宣言を行いましたので皆様にご報告いたします。今後とも弊社の事業活動に関する皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## SDGs とは

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられました。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。

SDGs宣言書

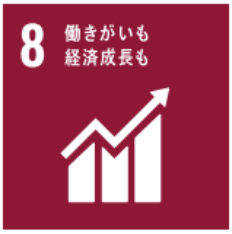
当社はSDGsの達成を通じて、
一人一人が笑顔で暮らせるような
社会の実現に努めてまいります。

国際運輸　株式会社
代表取締役 前田　和隆

当社の重点目標

西日本シティ銀行

## 当社の重点目標




包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。

持続可能な消費生産形態を確保する。

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

人生の中のほっと温まるお話です。

# Heartwarming Story

## ～受けたから、落ちたんだ～

この３月は母娘とも落ち込んでいました。長女が高校受験に失敗したのです。その高校は小学生の時からの憧れでした。でも、１月の進学相談で先生から「偏差値から言って合格率は 30%、1 ランク下げて・・・」と言われてました。迷う娘に私は「受けたら」と励ましました。夢に挑戦する気持ちを失ってほしくなかったからです。先生からは「君の親は何を考えているのか」とまで言われたようです。

それから受験日迄、親から見てもそれはよく勉強していました。自己採点で昨年の合格ラインは超えたようですが、発表の日娘の番号はありませんでした。娘の落胆ぶりは慰めようもないほどでした。口には出しませんが、「1 ランク下げていたら」と強く後悔もしていたようです。それを察して、私も辛い毎日でした。

ちょうどその頃、ある本を手にしました。娘が感動したのは「投げなければ負けない」の話でした。（ケンタッキーダービーで敗退した武豊騎手。挑戦してまだ一勝もしていない野茂英雄投手。2 人が米国で出会って武豊騎手が語りかける。「僕だってここに来たから負けたんです。こなくては負けることも出来ないんです。野茂さんだって投げたから打たれたんです。投げない人は打たれませんよね」）

これを読んで娘は変わりました。後悔、悔しさ、惨めさでもがいていた彼女が「投げなければ、負けない」の一言で暗いトンネルを抜け出したのです。娘が言いました。「私も受けたから落ちたんだよね・・・。もしランクを落として合格していてもあの高校も合格していたかもしれない、と一生後悔しているかも・・・。やっぱりトライしてよかった。落ちて自分の努力不足が分かったし・・・」

今娘は５時半起床、早朝補習に出る為です。そして、次の大学受験には絶対成功すると目を輝かせています。

◎　編集後記　◎

今回のウイルスが私たちの日常生活に与えた影響は大きく、社会機能維持者（エッセンシャルワーカー）が注目されました。私たち物流事業者をはじめ医療福祉関係者や飲食料品供給者などです。普段決して花形とは言えない職種ですが、社会機能の麻痺を防止するため改めて仕事に対する価値が見直されたのではないでしょうか。物流業界の高齢化が問題視される中、これを機に若い方の関心の一助となることを期待したいですね。（編集部）

## ２月
## Happy Birthday

おめでとうございます！

２月１日　運輸部 長井 健吾さん
２月６日　運輸部 鴻巣 勉さん
２月９日　運輸部 樋渡 美乃さん
２月 21 日 梱包部 千布 花織さん
２月 27 日 運輸部 浦上 清隆さん

KOKUSAI

*Aiming at the highest customers satisfaction with all possible efforts.*